# 平成28年度 福知山市予算案の概要

日本が変わる。

平成28年2月 福知山市

地域で磨き、世界で輝く。

# 福知山公立大学

The University of Fukuchiyama

地域経営学部地域経営学科・公共経営コース・企業経営コース/医療福祉マネジメント学科



# 目 次

- 1 当初予算の規模と特徴
- 2 まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略事業
- 3 災害に強いまちづくり~総合的な防災機能強化
- 4 公共施設マネジメント~適正配置とサービスの質の向上をめざして
- 5『未来創造 福知山』多様性あふれる高次機能都市をめざして
- 6 財政健全化の推進
- 7 一般会計予算のポイント



# 1 当初予算の規模

# 『明日へつなぐ活気あふれる"次世代創造"』予算

- ・6月市長選挙を控えた骨格予算
- ・ただし着手済みの大型事業(治水対策、e-ふくちやま民間譲渡、公立大学)は当初計上
- ・『未来創造 福知山』など3つの新たな計画を連携し、事業計上
- ・普通交付税の特例加算の縮減開始(初年度のH28縮減は約7500万円)
  - 一般会計総額 412.5億円 (前年度同額)
  - ★ 一般会計は過去最大(H27と同様)
  - ★ 特別会計、企業会計をあわせた総額では平成18年度に次ぎ過去2番目の規模(H27と同様)

**予算総額** 単位:百万円

3 7 1 110 HZ	H28	H27	増減額	増減率
一般会計	41,250	41,250	0	0.0%
(前倒し含む)	41,745	41,505	+240	+0.6%
特別会計	23,327	23,224	+103	+0.4%
企業会計	23,479	23,437	+42	+0.2%
合計	88,056	87,911	+145	+0.2%
(前倒し含む)	88,551	88,239	+312	+0.4%



# 当初予算のポイント

- •市長選挙を控えた骨格予算
- 3つの着手済み大型継続事業を推進(当初予算計上)

総合的な治水対策の推進(H27~H31) e-ふくちやまの民間譲渡(H27に譲渡先決定) 福知山公立大学の開学(H28.4月)

•3つの計画の連携を具現化

未来創造 福知山(H28~H32) 福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略(H27~H31) 第6次福知山市行政改革(H28~H32)←※普通交付税の縮減(総額7.5億円)



# 大型継続事業の推進(当初予算計上)

区 分	H28計上額
・総合的な治水対策 の推進(H27~H31)	一般会計 8事業 1億9300万円
国府、地元と緊密に連絡調整し、計画に基づき 有利な財源を確保しながら所要の事業費を計上	下水道事業会計 9事業 10億300万円
<ul><li>e-ふくちやまの民間譲渡 (H27中に譲渡先決定) 譲渡先の決定後、円滑な移譲に向けて所要の 予算を計上</li></ul>	地域情報通信ネットワーク事業特別会計 1事業 2億 600万円
・福知山公立大学の開学 (H28.4月) 北近畿唯一の公立大学の開学に伴い、大学 法人に対する運営交付金を計上	一般会計 2事業 3億1400万円
合 計	20事業 17億4300万円



# 3つの計画の連携を具現化

福知山市人口ビジョン

将来目標 2040年人口=78,300人

実現のための体系

# 未来創造 福知山

(H28~H32)

### 福知山市を創生する

まち・ひと・しごと・ あんしん創生総合戦略 (H27~H31)



### 実効性を確保する

第6次行政改革(H28~H32)

公共施設マネジメント(H27~H31)

交付税の縮減開始(H28~H33)



# H28予算編成の基軸

## 未来創造 福知山

 市民が主体のまちづくり (協働・人権)

2人と文化・スポーツを育むまちづくり (教育・文化・スポーツ)

3 だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり (生活基盤)

4 豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり (防災・環境)

5 子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり (保健・医療・福祉・子育て)

6 地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり (産業・地域活力)

7 行財政効率の高いまちづくり

# 福知山市まち・ひと・しごと・ あんしん創生総合戦略

I 福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

Ⅱ 福知山市への新しいひとの流れをつくる

Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、 地域と地域を連携する



市民協働による改革 ~協働による地域経営の推進~

行政経営の改革 ~時代のニーズに即応した行政経営の推進~

> 財政経営の改革 ~持続可能な財政基盤の構築~

人材育成・組織改革 〜課題への対応力を強化する体制づくり〜



# 普通交付税特例加算の縮減開始

普通交付税(臨時財政対策債を含む)の展望

普通交付税特例加算の縮減 7.5億円

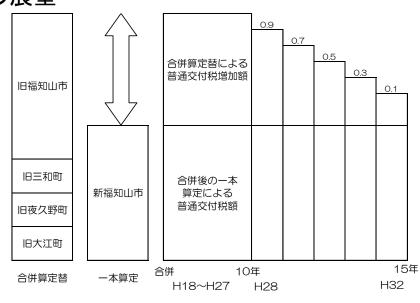
H28(初年度)

H29~H32

0.75億円/年

1.5億円/年

平成18年度から10年間にわたり受けてきた普通交付税(臨時財政対策債を含む)の特例加算措置が28年度からは5年間かけて段階的に縮減



### 合併特例事業債の活用事業の選別

合併特例債発行可能額 269.7億円

H27までの発行済み額 211.9億円 H28以降発行可能額 57.8億円

H26までの 発行済み額 188.6億円 H27発行 予定額 23.3億円 H28発行 予定額 10.1億円 H29以降 発行可能額 47.7億円 合併特例債は充当率95%、交付税算入率 70%の有利な財源

ただし発行期間はH32まで

H18~H32の発行可能総額は269.7億円

今後5年間での活用可能額は57.8億円

通常メニューの市債を最大限振替え



## 2 まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略事業

4つの「基本目標」

I 福知山市にしご とをつくり、安心して 働けるようにする Ⅱ 福知山市への 新しいひとの流れを つくる Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての 希望をかなえる IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

人口ビジョン 2040 年人口 **78,300**人

福知山市

国の支援措置を活用

H28 当初 総合戦略に基づく取組について、先駆性 推進交付金[1/2] を高め、レベルアップの加速化を図るこ 76.668 千円 とを目的とし、効果の発現が高い事業を 【国:1.000億円】 対象に選定。 H27補正 加速化交付金[10/10] 79.992 千円 H26補正 上乗せ交付金 【国:1.000億円】 先行型交付金[10/10] [10/10] 69.697 千円 16.000 千円 【国:1.400億円】 【国:300億円】 総合戦略の策定 総合戦略の推進 【H27年度】 【H28年度】



# H27前倒し(地方創生加速化交付金活用)事業

	テーマ	事業費 [千円]	充当国費等 [千円]	事:	業数	事業名[事業費:千円]
地	福知山 公立大学	23,730	23,730	रंगर	1	・「学びの拠点」推進事業 [ 23,730]
方創	移住•定住	7,652	7,652	地に交	1	·移住·定住促進事業 [ 7,652]
地方創生加速化交付金	「森の京都福知山」森の	14,518	14,518	加速化交付金 79,992千円(見込額)	8	<ul> <li>・元伊勢内宮参道マルシェ事業 [800]</li> <li>・夜久野高原・道の駅支援事業 [1,000]</li> <li>・夜久野高原玄武岩コンサート事業 [800]</li> <li>・丹波漆振興事業 [198]</li> <li>・児童絵画展示事業 [470]</li> <li>・全国育樹祭記念事業 [5,950]</li> <li>・酒呑童子と金太郎展開催事業 [800]</li> <li>・森の京都DMO事業[4,500]</li> </ul>
金充当事業	海の京都海の	16,758 京都	16,758		3	・海の京都DMO事業[12,390] ・スイーツフェスティバル事業 [ 1,200] ・福知山お城まつり支援事業 [ 3,168]
事業	KTR支援	16,418	16,418	を活用	1	·KTR支援事業(前倒予算) [ 16,418]
	雇用促進	916	916		1	・ふるさと就職おうえん事業[916]
国	年金生活者等支援 臨時福祉給付金	340,780	340,780		1	•年金生活者等支援臨時福祉給付金事業 [340,780]
第1号分算	情報セキュリティ 対策	45,831	国費11,349 市債11,200	3		<ul><li>・インターネット系業務ネットワーク環境整備事業 [ 21,658]</li><li>・小学校ICT環境整備事業(前倒) [ 18,211]</li><li>・中学校ICT環境整備事業(前倒) [ 5,962]</li></ul>
分予算	マイナンバー関連	13,496	13,496	1		・社会保障・税番号制度実施に係る整備事業[13,496]
,	TPP関連	15,000	15,000		1	・担い手確保・経営強化支援事業[15,000]
	合計	495,099	460,617	2	1	



### I 福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

#### 農林水産業の振興

融資を活用した農産物の生産、加工、流通、販売などに必要な機械等の取得であって、機械ごとに50万円以上かつ耐用年数が概ね5年以上20年以下のものであることが要件となっています。



担い手確保・経営強化支援事業

1500万円

(30) ←※主要事項説明書の30ページをご参照ください。以下同様です。

意欲ある農業者の経営発展を促進する農業用機械・施設等の導入を支援します。京力農場プランに位置づけられた中心経営体であって、認定農業者、認定新規就農者または集落営農組織などを対象に、機械等の取得に対し最大1/2を支援します。

6次産業推進事業

232万円 《継続

(31)

平成27年度に引き続き、東京都板橋区のハッピーロード大山商店街が 運営する"全国ふる里ふれあいショップ"「とれたて村」において、年間を 通した地場産農産物や農産加工品のPR販売を実施します。

農産物の販売促進や農産物加工に取組む組織に対して加工施設整備や販売促進活動の支援を行います。また、首都圏の都市においてアンテナショップ事業に取り組み、地場産農産物の知名度向上と販路拡大を目指します。

#### 商工業の振興

拡充

起業おうえん事業 612万円

(33)

起業相談会、創業セミナー、起業おうえん助成(創業関連融資利用者への6か月分の利子全額補給)に加え、起業家支援事業補助金を拡充します。 広報費等に対する支援(補助率1/2、最大50万円)に加え、新たに改修費等にも最大50万円(補助率1/4)を補助

市内で新たに事業を営む者及び創業支援事業者(福知山商工会議所・福知山市商工会)を支援し、起業及び雇用を促進することで産業の活性化を図り、地域経済の発展をめざします。

拡充

販路開拓支援事業

170万円

(34)

(1)関西圏内での出展 補助率1/2以内 上限10万円

(2)関西圏外での出展 補助率1/2以内 上限15万円(10万円から拡充)

(3)海外での出展 補助率1/2以内 上限20万円(10万円から拡充)

市内の中小企業者等が、自社商品及びサービスの販路開拓で市外の展示会等に出展するには、会場費や旅費等の経費がかかり、意欲があっても参加しにくい状況等があるため、その必要経費の一部を助成することで市内中小企業者等の企業活動の活性化を促します。また、平成28年度より首都圏や海外等、出展する地域により補助金の交付限度額を引き上げます。



#### 観光業の振興

京都府、京都市、亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市との連携事業本市では関連事業として、夜久野高原・道の駅支援事業、夜久野高原玄武岩コンサート事業、丹波漆振興事業、元伊勢内宮参道マルシェ事業、児童絵画展示事業、酒呑童子と金太郎展開事業を実施



#### 「森の京都 福知山」全国育樹祭記念事業 595万円

(36)

平成28年秋季に府内で開催される「第40回全国育樹祭」の記念イベントとして、福知山市内で開催される予定の「森林・林業・環境機械展示実演会」への来場者13,000人(予定)をもてなすため、歓迎アトラクション、特産品等の物品販売や展立を実施



#### 海の京都DMO事業 1239万円

(44)

DMO「Destination Management/Marketing Organization」 観光地域づくりを実現するため、多様な関係者で構成する観光客誘致の 戦略策定や、マーケティング・プロモーション、品質管理などを行う法人

平成26年7月に「海の京都観光圏」として国から認定された京都府北部5市2町で、観光まちづくりを地域の総力を集結して効果的かつ強力に推進するため、観光・交流・集客等に関する事業を一元的・総合的に行なうDMO組織「海の京都振興会社(仮称)」(京都府と5市2町の行政、観光・経済団体、交通事業者などで構成)を設立し、当地域への集客力の強化及び交流人口の拡大を目指します。京都府と構成市町が運営経費を拠出して参画します。

#### 雇用の確保

府北部7市町連携組織である京都府北部地域連携都 市圏形成推進協議会が主体となって実施。北部地域



#### ふるさと就職おうえん事業 92万円

(47)

京都府北部7市町が連携し、大学等の未就職卒業者及び卒業予定者、U・I・Jターン希望者等を対象とした合同企業面接会を都市部で開催します。京都府北部圏内における人材不足の解消と北部7市町への移住・定住を促進します。



・.|々一ン発望者等を対象と| た会同企業而接合を都

の企業約100事業所による合同企業面接会を開催。

①LGWANが利用できる事務用端末からインターネットを分離 ②都道府県単位で集約的にセキュリティ監視を強化 ③マイナンバーを利用するシステムには、個別端末からの情報持出し不可設定を行うなどアクセス管理を強化



#### インターネット系業務ネットワーク環境整備事業 2166万円

(50)

マイナンバー制度の導入に伴い、既にインターネットから分離済みである住民情報関係システムに加えて、今後、平成29年7月からマイナンバーによる情報連携に活用されるLGWAN(地方公共団体を相互に接続する行政専用ネットワーク)環境の端末についても、インターネットとの分割等を行うことで、更なる情報セキュリティ強化を図ります。



### 福知山市への新しいひとの流れをつくる

#### 地(知)の拠点としての地方大学の強化



#### 福知山公立大学運営費交付金事業

3億982万円

(53)

『市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学』を基本理念に、地域で学び、地域で働くという持続可能な地域社会の 形成、地方創生、地域再生に向けた社会貢献を使命として、平成28年4月1日に開学する公立大学法人福知山公立大学に対して 運営費交付金を交付します。



#### 福知山公立大学就学生支援事業 377万円

の就学生に対して入学支援金、奨学金を給付します。

経済的な理由で進学をあきらめる子どもたちに新たな選択肢を提供

し、誰でも学びやすい教育環境を整えるため、市民や低所得世帯等

(55)

#### 入学支援金

#### 〇福知山出身者 30.000円 〇保護者の所得が生活保護基準の

- 1.5倍以内の者
- 福知山出身者 252.000円 福知山市外出身で市内に住所
  - 94.000円

#### 奨学金

- 〇保護者の所得が生活保護基準の 1.5倍以内の者かつ学業成績が優秀
- 福知山出身者
- 2 福知山市外出身で市内に住所 を有する者 月額 10.000円

#### 移住・定住の促進



#### 移住・定住促進事業

1620万円

(56)

地域の教科書作成、地域の相談窓口の設置、情報パンフレット作成な どの体制づくり・情報発信のほか、住宅支援金(月額3万円を上限に家 賃を1年間補助)、雇用奨励金(移住者の雇用主に対し月額4万円を1年 間補助)で福知山での新たなくらしをサポートします。

「京都府指定無形民俗文化財」として伝承されてきた丹波漆。夜久野地域でその生産と技術を学びたいという人材1人を「地域おこし協力隊員」として受け入れ、「やくの木と漆の館」を拠点に活躍していただきます。

住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくりを進めるとともに、若年層や子育て世代等の移住を促進し、定住人口及び 交流人口の増加による地域振興を図ります。



#### 夜久野工芸村丹波漆伝承サポート事業

330万円

(57)

「地域おこし協力隊員」として漆関係者を都市部から新たに受け入れ、丹波漆に関する情報を市内外に広く周知するとともに、 地域での丹波漆の基盤づくりを強化し、漆の生産拡大や漆かき職人の後継者育成、丹波漆のブランド化への取り組みを支援 します。



### 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 妊娠・出産・育児の支援

#### 不妊治療費助成事業 944万円

継続

(61)

H24治療分から限度額内全額助成をスタートし、助成件数・助成金額 ともに大きな伸びがみられています。平成26年10月からさらに対象治療(不育症など)を追加し対象者の負担を軽減しています。

不妊治療を受けている夫婦の経済的な負担の軽減を図るため、 平成15年度から治療費の自己負担金の一部を助成する事業を 開始しました。平成23年度には対象治療に人工授精が追加、平 成24年度治療分から、助成限度額の増額とともに全額助成(限 度額内)をし、妊活を強力にサポートしています。

#### 子育で支援の充実

#### 病児保育サービス事業

967万円

病気のため集団生活が困難であり、かつ保護者が勤務等のため家

庭で保育できない児童を一時お預かりし、子どもの病気が原因でや

むを得ず仕事を休まなければならないという状況を解消します。

継続

実施場所 福知山市民病院内病児保育所

仕事などの都合で家庭での保育が受けられない病 気中、病気回復期の小学校3年生までの児童

**定員(日)** 6人

開設時間 月~金曜日までの午前7時30分から午後6時まで



### Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### 市民協働による市街地・集落整備



夜久野地域協議会支援事業

791万円

「夜久野みらいまちづくり協議会」は「住んでよかったこのまちに」を実現するため平成27年7月14日に設立。大江地域の地域協議会は「これからも住み続けたい大江」を実現するため平成28年3月に設立予定です。

大江地域協議会支援事業

1354万円

(65)

(64)

住民が地域の課題を共有し、自らが考え行動し、行政と協働しながらまちの活性化を図る地域協議会の運営及び活動を支援するために交付金を交付します。



中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業

824万円

まちなみ環境整備事業の重点区域については 不動産契約仲介手数料や家財処分費の一部 について助成を行うとともに、平成28年度から 福知山まちづくり㈱等の活動について支援強 化、て動産流動化補助金〔新規〕。固定資産税 相当額の1/2以内 上限20万円)を行い、空き 家等の利活用を促します。

空き家・空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、それらを有効活用し、不動産の流動化を促し、まちなか居住の 促進と商業活性化を図ります。中心市街地エリアの情報を集約し、宅建業協会との連携を図り、ストックバンク登録者・利用希望者双方にとって信頼が保てるマッチングを行います。

#### 公共交通の最適化

#### KTR支援事業(地方創生加速化交付金) 1642万円

継続 (69)

特急車両(ディスカバリー)は導入から約20年が経過し劣化が激しいため、安全・快適に運行するために必要な改修と、併せて観光客誘客を図るためデザイン車両に改修を行う経費を、京都府をはじめ沿線自治体と協調し支援します。

平成27年4月から上下分離による鉄道 再構築を行い、基盤保有会社(北近畿タンゴ鉄道㈱(KTR))と運行会社(WILLER TRAINS㈱)]による事業展開を図っています。28年度は特急車両(ディスカバリー)2編成4両改修が予定されています。

旅客運送事業者や地域住民代表、その他関係者により組織する「福知山市地域公共交通会議」において計画を策定。地域や利用者の実態の調査・分析や、地元懇談会なども実施します。

福知山市地域公共交通再編実施計画策定事業

931万円

継続

(70)

公共交通の利用者は減少傾向にあり、現在の運行状況を維持していくことが困難な状況になってきています。平成27年度策定の「福知山市地域公共交通網形成計画」の基本方針に則り、まずは、市バス路線等の再編を進めるための具体的な実施計画を策定し、地域の実情に応じた効率性、利便性、持続可能性を確保した交通体系への再編を進めます。



#### 防災対策、消防・救急体制の強化

これまでは公共下水道区域の雨水排水区域に限定して補助していましたが、雨水の有効利用は省エネルギーに繋がり、環境対策としても有効な施策であることから、市内全域を対象地域とします。



#### 災害対策再エネ・省エネ推進事業

60万円

(72)

公共下水道区域の雨水排水区域以外で100リットル以上の雨水貯留槽を設置する者に対し、雨水貯留槽購入費の3/4を補助します。ただし、建物1戸につき1基限りとし、一戸に複数の建物がある場合は、そのうちの1棟のみとします。(補助金上限:4万円)。

#### 保健・医療・福祉の包括的な推進

### 拡充

#### 病院事業(病院事業会計) 134億7720万円

(177-178)

ますます広域化する医療ニーズに対応するため、引き続き医療スタッフの確保と医療機能の充実、地域医療の連携を進めます。

大江分院では訪問看護や訪問診療などの在宅医療を推進し、高齢化社会における地域に根ざした医療の提供を推進します。さらに、市民病院と連携しながら総合診療専門医の育成施設として、魅力ある病院づくりを進めるとともに、運営の合理化・効率化により安定経営を目指します。

#### 女性のためのがん検診推進事業

3571万円

継続

(72 74)

対象者と自己負担金(※自己負担金無料制度あり)・子宮がん検診 20歳以上の市民 700円・乳がん検診 40歳以上の市民 700円子宮がん検診については20歳、乳がん検診については40歳(いずれもH284.1現在)の人を対象に無料クーポン券を送付し個別受診を促します。

子宮頸がんは罹患率のピークが若年化しており、死亡率も諸外国の低下に反して 上昇しています。また乳がんは、検診受診率が低く、死亡率が上昇しています。 こうした状況から受診率が低く、罹患率の高い 女性のがん検診の受診促進を図り、がんの早期発見と正しい健康意識の普及および啓発を行い、健康の保持・増進を図ります。



## 3 災害に強いまちづくり~総合的な防災機能強化

#### 防災・減災施設の強化



#### 農村地域防災減災事業

4800万円

(76)

平成26年8月に設置された「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策協議会」の計画に基づき、弘法川、法川流域の農業用ため池6池に洪水調整機能を付与した改修を実施し、流域の治水対策を図ります。総事業費は3億4300万円、事業期間平成28~31年度の計画です。



#### 弘法川等河川改修関連橋りょう整備事業

3000万円

市道篠尾新町呉服線に架かる「無名橋」の架け替え 改修の費用を施工者の府に負担します。

6池は弘法川流域が市寺奥池、大道池、論田池、法川流域が新長谷池、長谷池、釜戸池です。28年度は実施計画を策定します。

平成26年8月豪雨による内水被害への対策として、京都府管理河川である弘法川の改修にあわせて弘法川に架かる市道橋の改修を行います。河川幅が広がることから、橋長を長くするとともに、河川断面の阻害が少ないよう橋脚のない橋に架け替えます。

#### 情報伝達体制の強化



防災マップ整備事業

1351万円

(83)

10年ぶりの改定となります。前回は平成18年度に作成し、全戸配付するとともに転入者への配布を行っています。

平成28年度に国土交通省が由良川の浸水想定区域等の見直しを行うことから、新たな防災マップ(洪水ハザードマップ)を作成し、全戸配付を行います。今回の見直しでは、想定雨量の見直しや堤防決壊等による外力の影響も考慮されることとなっており、早期に作成し、全戸配付することで市民の災害時の円滑かつ適切な避難行動に役立てます。

#### 消防防災体制の強化



消防団資機材整備事業

576万円

報収集・共有・発信機能を強化し、地域防災力の向上に努めます。

(88)

消防団簡易デジタル無線 29台(各分団1台ずつ増強)、ヘルメットの更新(400個)、消火用ホース(65mm×20m 58本)、背負い式消火水のう(8台)など

消防団活動の安全を確保し、地域住民の生命・財産を災害から守ります。消防団用の無線機器の更なる増強を図り、消防団の情



## 公共施設マネジメント~適正配置とサ

<u>「P」」上さめ) さしし</u> H28計上予算額 301,231 <sub>千円</sub>	向上をめざして	H28計上予算額	301.231 <sub>千円</sub>
--	---------	----------	-----------------------

			001,201111	
区分	最適化事業	譲渡事業	除却事業	その他事業
事業費	92,377千円	29,212千円	172,150千円	7,492千円
内容	保健・福祉施設 32,125 ※東部保健福祉センターが三和 支所に移転 消防団施設 60,252 ※修斉分団詰所車庫の統合 ※有路上分団詰所車庫の統合	集会施設(まちづくり推進課) 3,768★ 集会施設(人権推進室) 6,254★ 農業施設(共同作業所) 19,190	集会施設(人権推進室) 7,900 農業施設(共同作業所) 51,700 一戸建住宅 1,400 市営住宅 28,300 消防施設 21,300 小学校施設 11,400 幼稚園施設 26,950 学校給食センター 7,000 その他 16,200	夜久野町ふれあいの里 福祉センター等敷地登 記測量 4,715 閉校施設用地境界確 定 2,777
財源	最適化債 27,000 [90%] 緊防債 27,900 [100%] 過疎債 31,500 [100%] 一般財源 5,977	※起債メニューがないため ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	除却債 121,800 [75%] 一般財源 50,350	※起債メニューがないため 全額一般財源 7,492

所要一般財源 = 5,977+29,212+50,350+7,492 = 93,031 千円

一部、地域振興基金を活用(★印) 10.022千円

財 源 対 + 活用 策

ジメント事業の 財源に活用。

#### 公共施設等跡 地の売却また は貸付収益を 基金に積立て。 これを次のマネ

活用目的 公共施設等の 整理、(改修)整備等

### H28積立

『福知山市公共施設等総合管理基金』を創設し活用

91.911千円 南天田市営住宅、内記寮 等の売却収入、その他貸付 収入

#### H28婦入

上記事業の所要一般財源 の残額 93.031-10.022 のうち充当不適852を除く

82.157 千円





#### 公共施設の統合

| 移転先の三和支所にトレーニングルーム 2室、診察室 3室、プレイルーム 1室を整備します。



#### 公共施設最適化事業(保健・福祉施設)

3213万円

(91)

老朽化が著しく駐車場が狭い現在の東部保健福祉センターを、近隣施設である福知山市三和支所内の空きスペースに全面的に移転します。

消防団施設整備事業

6026万円 (

継続 ) (92)

消防団修斉分団第3部で2か所、有路上分団で3か所に分散配置していた車庫・詰所をそれぞれ統合し新設します。それぞれ新築予定地は成和コミセン駐車場、有路上分団1部詰所敷地で計画しています。

消防団員の活動拠点となる消防車庫・詰所などを地域の実情に応じて再編・統合し、活動環境を維持向上することにより、地域に密着した消防団の活性化・処遇改善を図ります。これは公共施設マネジメント実施計画に基づき再配置を進め、施設総量の削減を図るものです。

#### 公共施設の民間譲渡

地域等との協議が整った集会施設6施設、農業施設(共同作業所)12 施設について、民間譲渡の手続きを進めます。



#### 公共施設民間譲渡事業

2922万円

(93)

利用者が地域の住民に限られるコミュニティ施設で、地域住民が保有・管理することがふさわしい施設を自治会等の地縁団体に譲渡します。また民間事業者による自主的な運営に託すことで、より効率的・効果的に活用ができると考えられる施設を民間事業者に譲渡します。

#### 公共施設の除却



#### 公共施設除却事業

1億7215万円

(94-96)

集会施設、農業施設(共同作業所)、一戸建て住宅、消防施設、消防水利施設、消防救急アナログ無線設備、小学校施設、幼稚園施設、学校給食センター、その他施設あわせて合計32件の施設を解体撤去します。

設置時の目的が概ね達成され利用者が減少している施設や、複数の施設を統合したことにより余剰となった施設、および老朽化 し継続利用の見込めない施設について施設総量の削減を図るため解体(除却)します。

#### その他公共施設の整理



#### 市有地販売事業

1億1084万円

(97)

職員厚生施設の内記寮跡地、市営住宅南天田団地の建替えにより創出した土地を売却し、価値の最大化を図ります。旧夜久野町役場跡地や旧中央保健福祉センター敷地の貸付収入も新設基金への積み立てに回し公共施設マネジメントのさらなる推進に活用します。

市有地(保留地、公社継承地、未利用地等)を積極的に売却処分し財源の確保を図ります。また公共施設マネジメントから創出された土地からの収益を、新設する公共施設等総合管理基金に積み立てます。



#### 総合福祉会館等施設管理事業

525万円

(98)

夜久野町ふれあいの里福祉センター等、夜久野町ふれあいの里ミニディサービスセンターについて民間譲渡を予定しており、計画を 円滑に進めるため用地調査を行います。

福知山市総合福祉会館などの施設について市民の福祉・生活文化の向上、健康づくりや生きがいづくりを図ることを目的として、その維持管理を行うほか、マネジメント計画に基づき、一部施設の譲渡のための登記測量を実施します。



## 5『未来創造 福知山』多様性あふれる高次機能都市をめざして

1 市民が主体のまちづくり(協働・人権)

#### 市民協働の推進

ページデザインのリニューアル、情報検索機能の充実、問い合わせフォームの追加など、利便性の向上と機能の強化を図ります。



#### 議会ホームページリニューアル事業

71万円 (100)

議会の情報を積極的に公開し、市民に議会への理解、関心を深めてもらうため、ホームページをリニューアルします。市民によりわかりやすい情報を迅速に提供することにより、議会基本条例に掲げる「積極的な情報公開」「議会への市民参加」を推進します

### 2 人と文化・スポーツを育むまちづくり(教育・文化・スポーツ)

#### 青少年の健全育成

拡充

#### 地域で支える「地域未来塾」開講事業

329万円

(104

平成27年度はモデル校として桃映中学校で実施し、28年度は 桃映中学校を含む市内3校に拡大します。中学3年生の希望 者を対象に、9月から週1~2回程度開講。英・数・国を中心に 支援します。指導員には教員のOBや大学生などを予定。場 所は中学校または近隣の社会教育施設を使用します。

家庭の事情や経済的な理由により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についていない中学生へ、教員OBや大学生など地域住民の協力による学習支援を実施します。受講生徒の出席率80%を指標とします。

#### 学校教育の充実

拡充

#### 学校給食管理運営事業

2億3423万円

(105)

平成28年度は、市内公立小中学校31校を対象に、福知山市学校給食センターで25校分、大江学校給食センターで6校分を 調理・配送します。 週5日のうち、米飯が4回、パンが1回で実施しており、一日あたりの調理数は、福知山市センターで約6,700食、大江センターで約500食を予定しています。

食物アレルギー対応を強化し、対象者の多い「卵アレルギー」について除去食の提供を新たに開始します。また平成28年度から夜久野センターを廃止し、その業務を福知山センターに統合します。夜久野学園の学校給食は福知山市学校給食センターから配送します。



#### 高等学校との連携



高校生議会実施事業 9万円

(60)

開催時期は5月を予定。場所は福知山市議会本会議場で対象人数20~30人を計画。平成27年度から、京都府教育委員会の「法やルールに関する研究」指定校となっている大江高校を対象とします。

「平成27年度地方創生まちづくりアイデア買取り事業」において、優秀賞を受賞した市民のアイデアを事業化します。 平成28年6月から選挙権の年齢が引き下げられることに伴い、将来を担う高校生に、民主主義の原則や地方自治の実践を学習する 機会を提供することにより、行政や議会に対する関心度を高め、まちづくりに参画する意識の高揚を図ります。

#### 文化活動の推進



観光友好都市鬼伝説交流事業

75万円 (110)

大江山酒吞童子の里を拠点に大江山登山、鬼瓦製作体験、手漉き和紙体験等大江の体験と日本の鬼の交流博物館で鬼伝説について学び、福知山市の児童・生徒と交流を行い、市民レベルで友好都市の絆を深めます。

大江山鬼伝説で関係の深い坂田金時の生誕の地・静岡県小山町と観光友好都市の親交を結び平成25年より3カ年、福知山市の児童・生徒が富士山登山に招待を受け「夏休み富士山チャレンジ自然体験」を行ってきました。平成28年度は、小山町の児童・生徒を福知山市に招き、鬼伝説の大江山を体感し、市民レベルの交流を進め、友好関係を深めます。

拡充

日本鬼文化交流事業 135万円

丹波福知山明智光秀サミット開催事業

(112)

福知山城の鯱瓦復元10周年、また天守閣再建30周年にあたり、鯱瓦と屋根瓦の施工監理に携わった 文化庁選定保存技術保持者・現代の名工(鬼瓦製作者)故小林章男氏(日本鬼師の会初代会長)の鬼瓦の

魅力について特別展示会及び講演会を開催し、福知山市の鬼文化情報を全国に発信します

明智光秀を主題に、光秀に縁のある市とともにパネルディスカッション、講演会等によるサミットを5月22日に開催予定。

福知山城天守閣再建30周年

福知山城天守閣再建30周年を記念するにあたり、福知山市と明智光秀のかかわりを再考察し、戦国時代の歴史舞台としての本市の歴史・文化の魅力を高め、まちづくりに活かすとともにテレビ番組、大河ドラマ等の誘致を図ります。

488万円

スポーツ活動の推進

現在8面のコートを32面に増設します。200~300人規模の大規模大会の開催により三和荘の集客向上と経営安定化につなげます。

三和荘駐車場兼用ペタンクコート整備事業 2989万円

継続

(115)

三和荘周辺にペタンクコート(砕石仕様、24コート)を増設し、各種地域大会や世界選手権選考会を誘致するなど、特色のあるスポーツ観光を進めます。また、駐車場兼用とすることで、イベントやスポーツ大会実施時における利用者の駐車場不足を解消し、利便性を高め、三和荘の利用者を増やします。



### 3 だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり(生活基盤)

#### 公共交通の最適化

### 拡充

#### 福祉有償運送実施団体活動補助事業

106万円

これまでの一律補助から、運行回数や運行距離などの事業規模に応じて支援額を細分化する内容に改め活動を支援します。

(120)

「身体的な理由から公共交通を利用することが困難な人の外出移動手段として、NPO法人等が行う福祉有償運送は重要性が増していますが、事業運営は車両の維持や運転手の確保など非常に厳しい状況であることから、運行にかかる経費の一部を支援し、利用者の利便性の向上と福祉の増進を図ります。

#### 中心市街地活性化関連道路整備事業 1億5200万円

継続

広小路本町線の電線類地中化、舗装改良工事 のほか、京町線の舗装改良工事も行います。

中心市街地において、街なみ景観に配慮した道路舗装、道路形態を整備し、通行車両及び歩行者の安心安全を確保します。 中心市街地活性化基本計画に基づく街並み環境整備事業の一環として、リニューアルが進む広小路商店街等の景観に配慮した道路改良を実施します。

#### 生活空間の整備

年間約16万人(H26実績)が利用する三段池公園総合体育館のつり天井耐震化工事を行います。

#### 三段池公園カルチャーパーク整備事業 2億2235万円

継続

(127)

(121)

三段池公園総合体育館の天井耐震化及び城山地区他の施設整備を実施します。三段池公園総合体育館はサブアリーナ、メインアリーナの順で工事を行い、工事期間中は部分休館となります。

### 4 豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり(防災・環境)

#### 自然環境の保全・共生の推進

グラウンド改修、受電設備改修工事などを実施し、財源は100%辺地債を活用する予定です。

「森の京都 福知山」北陵総合センター整備事業 3500万円

継続

(134)

「森の京都」エリア内にある北陵総合センターの施設及び周辺環境を整備することにより、大江山や三岳山への観光客や登山者の増加を図り、森の恵みゆたかな美しいふるさとを未来に引き継いでいくとともに、農村と都市住民との交流人口の増加による地域の活性化を目指します。



### 5 子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり(保健・医療・福祉・子育て)

#### 地域福祉の充実





#### 年金生活者等支援臨時福祉給付金事業 3億4078万円

(138)

平成27年度臨時福祉給付金の対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる方に3万円を支給

「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい低年金受給者への支援によるアベノミクスの成果の均てんの観点や、高齢者世帯の年金も含めた所得全体の底上げを図る観点に立ち、また、平成28年前半の個人消費の下支えにも資するよう、低所得の高齢者等を対象に当該給付金事業の実施が国において決定されたことにより、給付事務を行います。

#### 子育て支援の充実

#### 拡充

#### 地域子育て支援拠点事業

444万円

(141)

地域子育て支援拠点施設においては、市街地における子育て支援の拠点として、本事業のほかに利用者支援事業(基本型~子育て支援サービスの円滑利用のサポートと子育て支援団体のネットワークの構築と支援)、イクマチフリーマーケット等の事業も実施する予定です。

地域子育て支援拠点施設における「地域子育て支援拠点事業」の委託により、妊娠期から出産、子育で期にわたる切れ目ない支援を行います。9月までは広小路の旧店舗を利用し、従事者2人体制で週4日開設(従来分)します。10月以降は岡ノ三地域にて、3人体制で週5日の開設に拡充し、利用者の増加に対応します。



#### 放課後児童クラブ運営事業

2億48万円

児童クラブに対する保護者ニーズが多様化・高度化するなか、施設の充実や指 (142) 導員の資質向上を進めるなど、利用児童の安心・安全を推進します。

放課後児童クラブは、市直営12か所、委託1か所、補助6か所、合計19か所で、平日は放課後から午後7時まで、土曜日と長期休業中は午前7時45分から午後7時まで開設しています。今年度中には全クラブ6年生まで受入れが可能になります。

#### 障害のある人の福祉の充実



#### 人工透析患者通院助成事業 291万円

(145)

- (1) 対象者…じん臓機能障害により人工透析を受けるため医療機関へ通院している市民税非課税の人
- (2) 内容…週2回通院している人は、1か月に500円券を16枚(8,000円)また、週3回通院している人は、1か月に24枚(12,000円)交付します。通院先までの距離が 片道10キロを超える人は、その2倍の助成券を交付します。
- (3) 実施時期…平成28年10月から

本市では現在、通院による人工透析を受けている人に対し、タクシー等の料金を助成することで、通院手段の確保と通院にかかる交通費の経済的負担の軽減を図るため、「障害者安心おでかけサポート事業(社会福祉課所管)」と「在宅高齢者外出支援助成事業(高齢者福祉課所管)」を実施しています(重複利用は不可)が、両事業の助成内容等の公平性や既存事業との整合性等の観点から検討した結果、人工透析患者への通院支援を一本化し、10月から新制度として運用します。



### 6 地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり(産業・地域活力)

#### 農林水産業の振興

#### 拡充

#### 有害鳥獣防除事業 639万円

(151)

平成26年8月豪雨災害により被災した金網柵等の防除施設の復旧を新たに支援します。

シカ・イノシシ等の捕獲対策と併せて金網柵等及び捕獲柵の設置やバッファゾーン整備等による防除対策を実施するため、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する防除事業に対する支援を行い、被害の軽減を図ります。

#### 中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業 3891万円

継続

(153)

有害鳥獣の適正処分を図るため、福知山市・綾部市・舞鶴市の共同利用施設である「中丹地域有害鳥獣処理施設」の管理運営を行い、駆除隊員の労力負担を軽減することで計画捕獲を一層推進し、農作物被害の軽減を図ります。

#### 雇用の確保

#### 拡充

#### 試行雇用おうえん助成金交付事業 442万円

就職が困難な求職者を最長3か月間試行的に雇用することで、常用雇用へのきっかけとする公共職業安定所のトライアル雇用奨励金制度を利用する事業所に対して、市が上乗せして助成金を交付することで、事業者の人材確保にかかる負担の軽減と雇用の循環を促します。

### 7 行財政効率の高いまちづくり

#### 行政改革の推進



#### まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略推進事業 168万円

(162)

総合戦略策定時に関わっていただいた産官学金労言の外部有識者会議を引き続き組織し、平成27年度に実施した各種施策の検証と新たな施策の提案、見直しを行い、本市のPDCAサイクルの一翼を担っていただきます。



#### ふるさと納税推進事業 799万円

(163)

クレジットカードで納税が行えるよう業務を委託し、あわせて産品等の調達や返礼業務、広報などを事業者へ委託します。

ふるさと福知山を全国に情報発信し、地域活性化の取り組みとして特産品等返礼品の充実を図り、クレジットカード等でふるさと納税 が行える環境を新たに整備し、寄附者の利便性の向上と寄附金の増収を図ります。



# 6 財政健全化の推進

## ~持続可能な財政構造の確立~

## ① 財源確保対策

4億6,202万円(前年比+1億443万円)

※市税は、市町村民税を柱に増収となる一方で、地方交付税(実質的な地方交付税である臨時財政対策債を含む)はその影響を受け減額配分となる見込み。 一般財源総額では前年度より増加。

### 市有財産の積極的活用とアセットによる創出土地の売却

4億4,813万円

- 市有財産(土地建物、自動販売機など)の貸付・活用や未利用財産の積極的な売却処分による財源確保。(+692万円)
- 公共施設マネジメントにより創出された土地からの収益を、新設する公共施設等総合管理基金に積み立て財源を確保する。(+9,191万円)

### ふるさと納税制度

1,080万円

- インターネットを活用した寄附申込システムを導入しクレジットカード決済に対応する。
- 特産品PR等を外部委託し、寄附金の増収と本市のPRを加速させる。(+550万円)

### 広告収入の積極的確保

309万円

市が保有する財産・資源(公用車・施設など)を積極的に有効活用することによる広告収入の確保。(+10万円)



## ② 基金取崩しによる財源対策

- 財政調整基金を3.0億円取り崩し、予算を編成。
- 「e-ふくちやま」事業の公債費の増加に対応するため2.4億円の減債基金を活用し予算を編成。

## ③ 市債残高の抑制

- 交付税算入率の低い市債は発行を抑制
- 交付税措置のある有利な市債を発行することで、実質的な市債残高の圧縮に努める (合併特例債の発行期間を5年延長し32年度までとした。)
- 市債の発行については、据置期間や償還年限の見直しなどを行い、将来負担の逓減 を図る。



## ④ 特別会計・企業会計の健全化

- 地域医療の確保と市民病院大江分院の健全経営を目指す。
- 平成29年度上水道への経営統合に向けて簡易水道公営企業化のため資産評価の整備
- 農業集落排水施設事業の施設統合による施設維持管理費の削減
- 平成30年度に民間譲渡する「e-ふくちやま」事業の再整備事業支援を行い地域情報間格差の 是正を行う。
- 土地区画整理事業特別会計において、保留地処分を加速し早期に会計閉鎖を目指す。

## ⑤ 土地開発公社引継土地の売却・活用推進

- 解散した土地開発公社から引き継いだ土地の売却・賃貸等の活用を進める
- 土地の売却・賃貸で得た収益は第三セクター等改革推進債償還基金へ積み立て、 第三セクター等改革推進債の繰上償還の原資とする



# 7 一般会計予算のポイント

# ①歳入

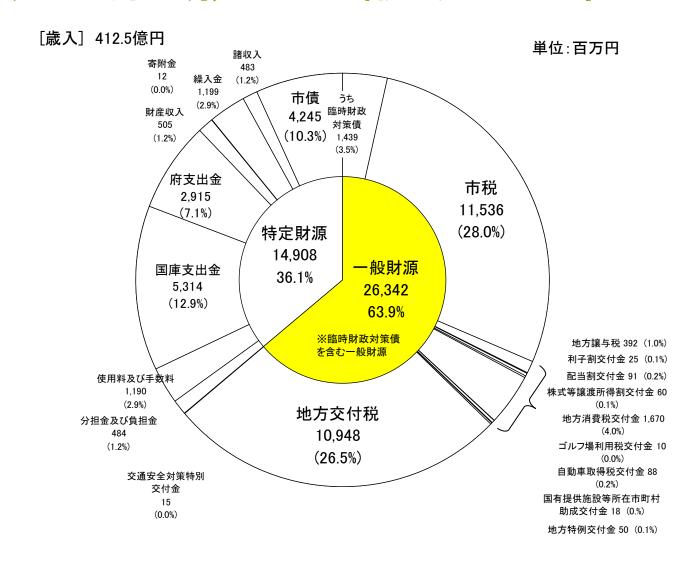
- 市税は2億7,182万円、2.4%の増収
  - 個人市民税は1億984万円、法人市民税は1億3,126万円の増収
  - 固定資産税は1468万円の減収
- 地方交付税は 2億200万円、1.8%の減少
- 市債発行額は5億1,100万円、10.7%の減少
  - 臨時財政対策債を除く市債発行額は4億2900万円、13.3%の減少(2年連続10%以上の抑制)

単位:百万円

主な項目	H28	H27	増減額	増減率
市 税	11,536	11,264	272	2.4%
うち個人市民税	3,512	3,403	109	3.2%
うち法人市民税	1,235	1,104	131	11.9%
地方交付税	10,948	11,150	Δ202	Δ1.8%
市債	4,245	4,756	△511	△10.7%
うち臨時財政対策債を除いた市債発行額	2,806	3,235	△429	△13.3%
うち合併特例債発行額	916	1,574	△658	△41.8%
うち合併特例債を除いた市債発行額	1,890	1,661	229	13.8%



# 一般会計歳入内訳(412.5億円)





## ②歳出(目的別)

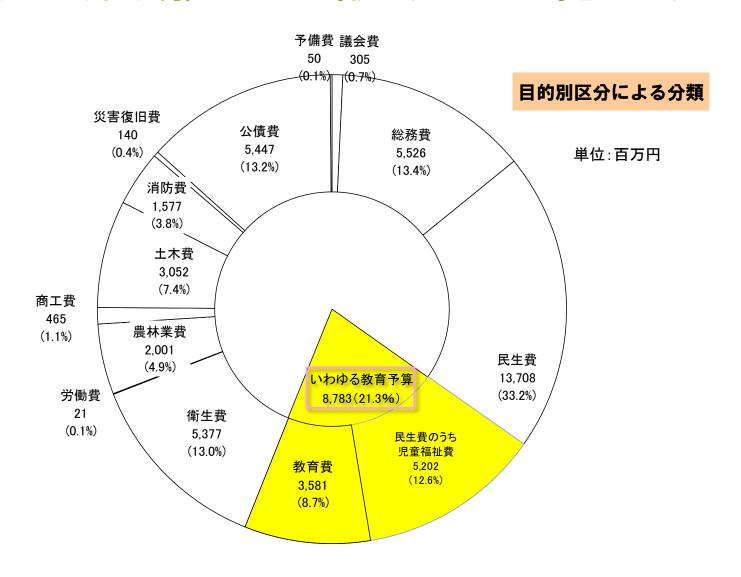
- 総務費は、庁舎耐震化事業、市民会館改修事業の工事完了などによる減
- 民生費は、民間保育所整備事業、くりのみ園整備事業の工事完了などによる減
- 土木費は、街路事業(高畑工区)、三段池体育館耐震化事業、防衛施設整備事業などによる増
- 教育費は、福知山公立大学の運営経費、小・中学校の耐震化事業などによる増
- 災害復旧費は平成26年発生災害の復旧の進捗により大幅減少。

単位:百万円

		-			-
増減が大きい主な項目	H28	H27	増減額	増減率%	構成比%
総務費	5,526	5,874	△348	△5.9	13.4
民生費	13,708	13,928	△220	Δ1.6	33.3
うち児童福祉費(子育て支援) ①	5,202	5,657	△455	△8.0	12.6
土木費	3,052	2,585	467	18.0	7.4
教育費 ②	3,581	3,189	392	12.3	8.7
災害復旧費	140	550	△410	△74.6	0.3
総 額	41,250	41,250	0	0.0	100.0
いわゆる教育予算 計(①+②)	8,783	8,846	△63	△0.7	21.3



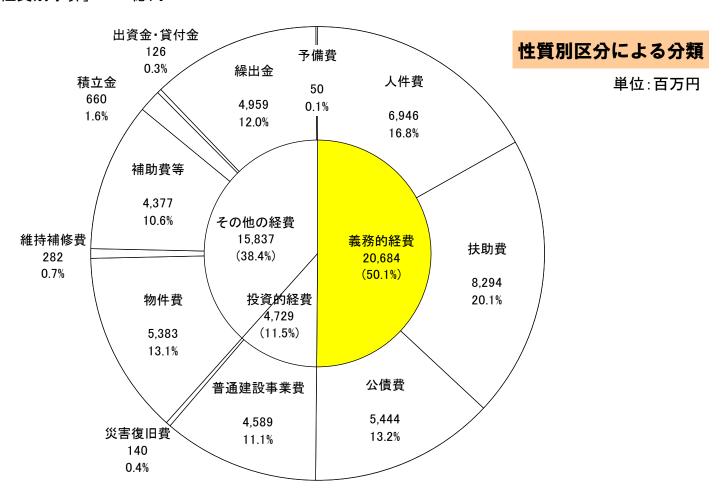
# 一般会計歳出内訳(412.5億円)





# 一般会計歳出内訳(412.5億円)

「性質別予算] 412.5億円





# ③ 財政状況の概要 (基金残高)

(単位 百万円)

前年度比

- 財政調整基金を3.0億円、減債基金2.4億円を取り崩して予算を編成
- 全基金残高は前年度に比べて 5.4億円減少
- 平成26年度比では+4.0億円

	H26	H27	H28	増減額	増減率 %
財政調整基金	1,863	2,300	2,005	△ 295	Δ 12.8
減債基金	1,133	1,552	1,426	△ 126	Δ 8.1
公共施設等総 合管理基金	-	1	10	10	皆増
第三セクター等 改革推進債償 環基金	18	14	3	Δ 11	△ 78.6
合併算定替逓 減対策基金	1,165	1,167	1,170	3	0.3
地域振興基金	2,453	2,662	2,637	△ 25	△ 0.9
その他特定目的	3 303	2 19/	3 086	Λ 0.0	Λ 2.1

3.184

10.879

3,086

10.337

△ 98

△ 542

 $\triangle$  3.1

 $\triangle$  5.0

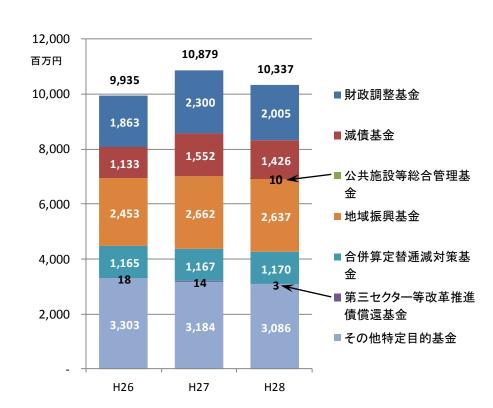
3.303

9,935

基金

合計

基金残高





## ④ 財政状況の概要 (市債残高)

- 市債残高は普通会計、全会計ともに減少(実質的な市債残高(\*)も、ともに減少)
- 普通会計の実質的な市債残高(\*)は161.6億円となり、前年度に比べて△9.9億円 (市民ひとりあたりの実質的な残高は1.2万円減少の20.2万円に。)
- 全会計の実質的な市債残高(\*)は450.9億円となり、前年度に比べて△12.2億円 (市民ひとりあたりの実質的な残高は1.5万円減少の56.4万円に。)

56.4万円

△1.5万円

(\*) 交付税の財政支援措置控除後の市債残高

H28 H27 増 減 市債 実質的な 実質的な 増減額 増減率 市債② (2) - (1)市債① 普通会計 △5.7 55.415 17.149 54.231 16.164  $\triangle 985$ 全会計 100.830 46.312 99.289 45.094  $\triangle 1.218$  $\Delta 2.6$ 市民一人あたり実質的な市債残高 普通会計 21.4万円 20.2万円 △1.2万円  $\Delta 5.6$ 

単位:百万円

 $\triangle 2.6$ 

★人口はH27年12月末人口79,987人で算出

57.9万円

全会計

★普通会計は、一般会計に地域情報通信ネットワーク事業特別会計を加えた想定会計です。

